

## 優秀賞

事務所、倉庫／神戸市兵庫区

## 大阪避雷針工業神戸営業所

構造 鉄骨+木造（増築部）・RC造（既存部）  
 階数 地上2階  
 敷地面積 660.87㎡  
 建築面積 297.14㎡（改修前 235.75㎡）  
 延べ面積 471.59㎡（改修前 857.86㎡）  
 竣工年 令和6年



設計担当者 山崎篤史

(株)竹中工務店、大阪府建築士会

共同設計者 大石幸奈

(株)竹中工務店



既存建物から北側と南側に木と鉄骨を使って増築した大庇が跳ね出す（写真：ナカサ&amp;パートナーズ）



2階事務所 新たに設けたトップライトから自然光が落ちる（写真：母倉知樹）



1階共創スペース 右側に倉庫が見える。テーブルは敷地内に生えていたクスノキを再生（写真：母倉知樹）



庇と建物の隙間から、外構と街路の緑が重なって見える（写真：大竹央祐）

# 選 評

本プロジェクトは、当初は改築予定であった築35年の4階建ての建物を業務効率化によって大幅に減った職員数に応じた営業所とするべく、需要がなくなった4階の社宅部分と3階床を減築し、リノベーションしたものである。

この作品の計画上秀逸な点は、①業務効率を考えると従来は1・2階に分かれていた作業場・倉庫を1階に集約し、3階にあった事務所を2階に移すことが望まれることに対して1階の床面積が不足するため、減築によって軽くなった分で既存躯体から南北に大屋根を吊り下げ、北側は片持ちで基礎を

作らずに増築し、南側は屋根付きトラックヤードを形成したこと、②トラックヤード、作業ヤード・倉庫、共創スペース、事務所を連続的な開放的空間として構成したこと、③南北の大屋根を近隣との視線の交錯解消や、事務所の光環境向上に生かしていることの3点が統合的に提示されていることである。またデザイン的には、コンクリート、亜鉛メッキ銅板、木毛セメント板といった即物的素材に大屋根や作業ヤード・倉庫と共創スペースを緩やかに仕切るルーバーなどに効果的に木を用いて心地よい空間を形成している。

この作品は、大量なストックがある一般的建築の再生モデルとして新たな視点を提示し、建築作品へと昇華していることから優秀賞に相応しいものである。（箴島 亮）



南側大庇が近隣からの視線と直達日射を遮ることで  
まちの緑とつながる (写真:大竹央祐)



1階共創スペースと2階事務所をつなぐ吹き抜け (写真:ナカサ&パートナーズ)



道路側からみた南側大庇 道路際の植栽は従業員によって  
毎日大切に手入れされている (写真:大竹央祐)



南側大庇 2階事務所を直接日光と近隣からの視線から守りつつ、荷捌きスペースとつないでいる  
(写真:母倉知樹)